

シンガポールに大型物流センターを建設

全フロア温度帯管理の高機能物流センター

山九株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中村 公大）の海外現地法人、山九シンガポール（私人）有限公司〔SANKYU (SINGAPORE) PTE LTD.〕は、シンガポール西部のトアス地区にトアス物流センター（仮称）を建設いたします。

同倉庫は既存倉庫の建て替えにより施設面積をこれまでの2.2倍に拡張し、東南アジア域内における弊社最大級の物流センターとして2025年9月の開設を予定。トアス地区を中心としたバイオメディカルや医療・医薬関連の物流需要の取込みをターゲットに、全フロアに22℃前後の温度帯管理機能を完備し、保管効率の高いVNA型物流センター（*1）とする計画です。

更に、シンガポール政府が計画中のトアス新港（*2）に近接する利便性を活かし、同国における国際物流貨物の需要を取り込む予定です。また、山九グループのサステナビリティ基本方針にもとづき、屋上にソーラーパネルを設置し、倉庫で使用する電力の一部を賄うことで、CO2排出量の削減に貢献してまいります。

※1 【VNA型物流センター】VNAはVery Narrow Aisleの略。自然災害のリスクが少なく、国土が狭いシンガポールにおいて有効活用可能な、通路幅の狭い高層ラックを備えた物流センター。当倉庫は約12m/階のラックを設置予定。オペレーションには搬送用の自動フォークリフトが導入され省力化が可能となる高機能物流センター。

※2 【トアス新港】国内に分散する5つのコンテナターミナルをトアス地区の新港に集約するシンガポール政府が進めるプロジェクト。第1期が2023年9月に開業し、順次拡張し2027年には一本化を予定。最終的には2040年までに6,500万TEU/年の取扱い（現状の約2倍）を目指している。



倉庫イメージ

【施設概要】

名称：トアス物流センター（仮称）

住所：Tuas Avenue 13 Singapore
638389

開設時期：2025年9月

敷地面積：19,230 m²

施設面積：37,975 m²（うち事務所：1,253 m²）

構造：鉄筋コンクリート4階建て

機能：全フロア温度管理（22℃±2℃）
VNAラック、ソーラーパネル、
垂直搬送機4台、荷物EV2台